

日本語レベル評価基準

BJTビジネス日本語能力テスト(JETRO)		日本語能力試験(日本国際教育協会)	J. TEST(日本語検定協会)
800点 ↑ 600点	J1+	どのようなビジネス場面でも日本語による十分なコミュニケーション能力がある。 日本語に関する正確な知識と運用能力がある。 どのようなビジネス会話でも正確に理解できる。 会議、商談、電話の応対などで相手の話すことが正確に理解できる。 対人関係に応じた言語表現の使い分けが適切にできる。 どのような社内文書やビジネス文書でも正確に理解できる。 日本のビジネス慣習を十分理解している。	< 特A級 > 930点以上 様々な分野、場面において高度なコミュニケーション能力がある。 (高度な日本語の通訳ができる) < A 級 > 900点以上 様々な分野、場面において十分なコミュニケーション能力がある。 (一般的な日本語の通訳ができる)
↑ 530点	J1	幅広いビジネス場面で日本語による適切なコミュニケーション能力がある。 日本語の知識・運用能力に問題が一部あるが、意志疎通に支障はない。 幅広いビジネス会話が正確に理解できる。 会議、商談、電話での応対などで相手の話すことがおおむね理解できる。 対人関係に応じた言語表現の使い分けがある程度できる。 日常的な社内文書やビジネス文書が正確に理解できる。 日本のビジネス慣習をおおむね理解している。	< 準A級 > 850点以上 やや限定された分野、場面において十分なコミュニケーション能力がある。(基本的な日本語の通訳ができる) < B 級 > 800点以上 一般的な分野、場面において十分なコミュニケーション能力がある。 (日本で長期間仕事ができる)
↑ 420点	J2	限られたビジネス場面で日本語による適切なコミュニケーション能力がある。 日本語の知識・運用能力に問題が一部あり、意志疎通を妨げることがある。 日常のビジネス会話がおおむね理解できる。 会議、商談、電話での応対などで相手の話すことがある程度理解できる。 対人関係に応じた言語表現の使い分けが少しできる。 日常的な社内文書やビジネス文書がおおむね理解できる。 日本のビジネス慣習に対する理解がある程度ある。	日本語能力試験1級 < 準B級 > 700点以上 日常生活や学校、会社において基本的なコミュニケーションが十分にできる。 (日本へ出張して仕事ができる) (日本の大学に入学できる) (* 日本語能力試験1級程度)
↑ 320点	J3	限られたビジネス場面で日本語によるある程度のコミュニケーション能力がある。 日本語の知識・運用能力に問題があり、意志疎通を妨げることが多い。 日常のビジネス会話の簡単なものがおおむね理解できる。 会議、商談、電話での応対などで相手の話すことが少し理解できる。 対人関係に応じた言語表現の使い分けが断片的にできる。 日常的な社内文書やビジネス文書の基本的なものがある程度理解できる。 日本のビジネス慣習に対する理解が少しある。	< C 級 > 600点以上 不十分なところもあるが、基本的なコミュニケーションができる。 (日本に出張して簡単な仕事ができる) (* 日本語能力試験2級程度)
↑ 200点	J4	限られたビジネス場面で日本語による最低限のコミュニケーション能力がある。 日本語の知識・運用能力に問題が多く、意志疎通できることが少ない。 ゆっくり話された簡単なビジネス会話がおおむね理解できる。 対人関係に応じた言語表現の使い分けはできない。 日常的な社内文書やビジネス文書の基本的なもの断片的に理解できる。 日本のビジネス慣習に対する理解が断片的にある。	日本語能力試験3級 < D 級 > 500点以上 最低限のコミュニケーションができる。 (簡単な日本語がわかる)
↑ 0点	J5	日本語によるビジネスコミュニケーション能力はほとんどない。 断片的な日本語の知識がなく、日本語の運用能力はきわめて不十分である。 ゆっくり話された簡単な会話も部分的にしか理解できない。 日常的な社内文書やビジネス文書は理解できない。 日本のビジネス慣習に対する理解はほとんどない。	< 認定なし > 500点未満